

# 榿の木だより

2023年4/1

第110号

ひとりひとりひかる

# きぼろ

発行：榿の木福祉会（法人本部）  
かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

榿の木福祉会 ホームページ

[http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



梅の花のいい匂い！



花より団子（鯛焼き）♪

### 【目次】



- ・1P 表紙、理事長挨拶
- ・2P 作業所改修工事
- ・3P 喫茶ふらっと新商品
- ・4P きーぶ移動支援
- ・5P かしの木の会の新たな取り組み
- ・6P 福祉会情報、他

## 新年度ご挨拶

昨年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に振り回された1年でしたが、やっと落ち着きを取り戻した感がいたします。利用者や保護者、職員の皆様のご協力により、感染拡大を最小限に食い止めることができました。ご協力をいただきました関係各位に改めて御礼申し上げます。

第9波の到来の心配も消えない状況ではあります

が、令和5年度の榿の木福祉会の主な行事（運動会、盆踊り大会、遠足、フェスティバル、交流会など）は、感染症の状況に合わせて工夫をしつつ実施してまいります。

本年度も引き続き、利用者の方々の安心安全な暮らしを守り、心豊かな生活の実現に全力を上げてまいります。ご支援のほどお願い申し上げます。

榿の木福祉会 理事長 北川 登

## 法人コーナー①

### 檜の木作業所 改修工事進捗状況のお知らせ

皆さんご存知の通り、檜の木作業所は昭和56年に開所され40年以上が経ち、建物の老朽化が目立つようになりました。特にトイレの臭いはいくら掃除をしても除去できるレベルではありませんでした。

また、建築基準法の耐震基準が昭和56年6月に改正されましたが、「果たして檜の木作業所の建物が基準を満たしているのか不安」との声が聞かれていたため、一昨年業者による耐震検査を行いました。

建築士の話では、南北方向の揺れに対しては基準を満たしているが、東西方向の揺れに対しては若干基準を満たしていないとのことでした。

そこで法人として、まずは利用者の方の安全性確保のため、耐震補強を行うことを決めました。また、予算の範囲の中で、トイレの改修、内装の補修、そして利用者の方々がより快適に活動できるように新しい建物を増築することとしました。

建築士との打ち合わせを重ねながら、令和4年11月7日に着工式を行い、11月中旬から工事が始まり、工期はⅠ期からⅣ期となっています。

Ⅰ期は、北側トイレ、浴室、リネン室を行いました。男女トイレに加えて、バリアフリースイレを設置し、利用者の方の高齢化や身体に障害のある方々のニーズに応えられるようにしました。

Ⅱ期工事は、事務所側のトイレ改修で、男性トイレに加え、もう一つ小さめのバリアフリースイレを設置しました。

Ⅲ期工事として、現在、廊下、天井、壁などの内装の補修と耐震補強工事を行っています。

Ⅳ期工事は、建物の北側にある空き地に新しい活動場所（作業室を予定）を増築します。完成は7月下旬を予定しています。

11月から始まった工事ですが、始まる前は、利用者の方々の日々の活動に支障が出ないか心配していました。建物解体時の大きな騒音、女性トイレの数が少なくなる、トイレの場所が離れる、廊下の幅が

狭くなるなど。また手洗い場が使用できなくなるため仮設の小さな手洗い場で、お昼は歯磨きもしなくてはならなくなると新型コロナ感染も懸念されました。



男性トイレ



女性トイレ



浴室



バリアフリースイレ

そんな心配をしながらも工事が始まると、利用者の方、職員ともに状況を理解していただき、協力し合って何とか無事にⅡ期工事まで終えることができました。

新しいトイレが完成し、それを見たときは、全員大喜びしたことがとても印象に残っています。職員は、長くきれいに使用できるよう清掃を頑張っています。

これから内装の一部補修や新しい活動場所の増築が行われます。皆さんが、より楽しく、快適に活動できるよう職員は知恵を出し合い、工夫しながらサービス内容を充実させていきたいと考えています。完成しましたら、お気軽に見に来てください。お待ちしております。

管理者 伊藤 豪



## 法人コーナー②

### 檜の木園

#### Café ふうっと14周年記念イベント

令和4年10月17日(月)～29日(土)にふうっとの14周年記念イベントを開催致しました。過去2年、コロナの影響もあり開催を自粛しておりました。今回は比較的客人が少ない午後限定のイベントという形で開催することができました。様々な企画を実施しましたので紹介させていただきます。



(イベントチラシ)



(粗品はこちら)

#### 「目玉企画その1 毎日朝市」

地域の協力者様のお力添えにより毎日野菜販売を実施しました。この企画のために毎日朝から野菜を収穫していただき、新鮮野菜を提供することができました。販売する野菜は日によって変わりますが、「大根・人参・里芋・さつまいも・カブ・ほうれん草・ぎんなん」などなど。毎日10～15種類程度の野菜を並べました。お客様の反応もよく、野菜を持っていくとすぐに列ができ、野菜が到着するのを待っている方、少し店舗に行くのが遅れると野菜はまだ?と問い合わせる方もみえました。



(朝市の野菜!!)



(クッキー・プリン等)

#### 「目玉企画その2 モノづくり体験教室」

イベント開催中、土曜日が2回あり、10月22日と29日に体験教室を実施しました。22日は、「宝

石石鱈作り」、29日は「木工教室」を開催しました。両日とも大盛況となり、たくさんのお子様や大人の方もみえとても賑やかで、予定以上のお客様がモノづくりを体験されていました。皆さん真剣な表情で取り掛かり、完成したのを見て、喜んでいる様子が見えました。なかにはお孫さんへのプレゼントと言って、一人で4つのモノを作られた方もみえました。そのほかにもイベント特典として…

- ◆ご来店のお客様に粗品プレゼント  
(特製ボールペン or ティッシュボックス)
- ◆期間中、毎日チケット割引  
(3,800円→3,500円)
- ◆製菓、毎日販売  
(クッキー・プリン・マドレーヌ)
- ◆毎日1日1名様にサプライズ

といった内容です。サプライズは14周年ということで、午後の来店14番目のお客様に製菓の詰め合わせをプレゼントしました。ここで紹介ですが、実はCafé ふうっと、今年度からパワーアップし、製菓販売を行っています。現在の商品は、クッキー・プリン・マドレーヌの3種類です。基本的に毎日店舗販売をしています。今後、商品開発をして種類も増やしていきますし、地域で販売することを目指していきます。ぜひ期待しててください。

今回イベントを実施して、こういうイベントはやっぱり楽しいものだと感じました。様々な企画を通してお客様の反応も直接感じることができ、喜んでいただける表情やお声をいただくと、もっと良い店を目指していこうと思えました。新聞広告も入れたことにより、初めてご来店された方もたくさんみえました。今回のイベントにご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

そして何より、萩原という町で14年間もこうして続けてこられたのは、地域の皆様をはじめ、たくさんのお客様のおかげです。これからも皆様に喜んでいただけるCafé ふうっとにしていこうと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

管理者 加藤 栄治

## 法人コーナー③

### きーぷ 移動支援の現状について

こんにちは！かしの木居宅介護事業所きーぷです。私どもの事業所は、居宅介護（身体介護、通院介護、家事援助）、行動援護、同行援護、移動支援の事業を行っています。

令和2年に始まった新型コロナウイルス感染症の出現で、それまで当たり前と思っていた生活は変化を余儀なくされました。同じく私たちの支援の内容もガラリと変わりました。

きーぷのヘルパーのお仕事は、利用者さんのお宅に伺い支援を行います。時には長時間一緒に過ごすこともあります。そのため、コロナ感染症を「うつさない、もらわない」に注意して毎日支援を行っています。

中でも、外出支援は感染リスクが高く注意が必要ですが、余暇支援はみなさんの生活を充実させるために必要不可欠です。そこで、私たちは中止にするのではなく、感染の状況を正しく掴み、感染対策をしっかりと行いながら、計画内容の行先や時間帯などを工夫することでみなさんの余暇を保障できるよう試行錯誤してきました。

検温、マスク着用（全員の利用者さんにトライしました。）、換気、アルコール消毒、人混みを避ける、室内⇒屋外で過ごす、短時間、飲食の工夫（交代で摂る、ズラして摂る、屋外で摂るなど）、行先の工夫などを行っています。最近はコロナ感染者数も減り、規制緩和も言われるようになりました。



外出支援の内容も、移動範囲が広がり、今までお断りをしていた人混みの場所や飲食を伴う支援も可能になってくることが予想されます。マスクの着用が難しい方も、お店や公共交通機関の利用も可能になるかもしれません。しかし、忘れてはいけないのは、罹患すると本人のみならず家族や事業所の大きな負担となることです。そのため、感染状況の判断と、親御さんとしっかり話合ったうえで対策と支援計画を立てていくことが大切だと考えます。



これから先、長時間の依頼、遠出の依頼など外出支援のニーズが増えてくることが見込まれますが、現在きーぷではヘルパー不足が深刻な問題となりつつあります。世の中全体が人手不足ということもあり、今以上に利用者さんのニーズに伝えていくためには新規のヘルパーさんの確保が急務となっております。努力はしていますが、募集をかけても集まらないのが現状です。

もし、皆様のお知り合いの方で週に一回、月に一回でも良いのでヘルパーとして働きたい方がおみえになりましたらご紹介いただきますよう、よろしく願いいたします。

管理者 河合 伸治



## かしの木の会コーナー

### 本会の新たな取り組み（LINE 配信）

2020年初頭から新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し始めてから3年が過ぎました。政府より方針転換と共に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付け変更の見通しが発表され、様々な制限等が解除されていく事となりました。

既にイベントでの人数制限は撤廃され、日常を取り戻しつつある社会ですが、諸外国では新たな変異株の拡大も聞かれ始めています。

今後も新型コロナウイルス感染症は終息するのではなく、変異を繰り返し、人々の体内等で共存していくのではないかと考えられます。

そのような中で、障害者の方々と密接な本会として活動を再開していくには、いつ感染拡大するとも知れない感染症を視野に入れた活動方法を選択すべきではないかと思われま

す。話は少し遡りますが、コロナ禍以前は、本会の月間予定表等のお知らせを会員の皆様に配布するには、原稿の作成の他、少なくとも6名程役員が集まって印刷、折り込み、各事業所への配布のお願いと配達、郵送分については郵便局へ郵送分を持っていくといった作業を行なう必要がありました。

2020年初頭に新型コロナウイルス感染症が流行り出し、その後は皆に集まっていた事もまもなくなくなり、その配布方法変更を余儀なくされました。そこで各事業所の管理者様にご協力いただき、郵送分以外の方への配布をお願いし、配布等ご協力いただいております。

郵送分については、人数を絞って折り込みを実施するか、役員の実家で印刷等を行うか役員間で感染を拡げないよう極力集まらないよう対処してまいりました。

当初、新型コロナウイルス感染症は早期に終息するものと考え、短期的に各事業所の管理者様にお願いするなど臨時対応で対処してまいりましたが、時が経つにつれ終息どころか変異を繰り返し、人々と

共存していく見通しとなった事から長期的に続けられる方法へと転換する必要性を感じるようになりました。では、実際にどのような方法があるのだろうかと考えた時、お知らせ等の配布等、オンラインは活用できないだろうかと考えました。

オンラインであれば、場所も選ばず、人手もかかりません。

数多くある配信ソフトやアプリの中で、多くの方が連絡手段として利用されているLINEに本会からのお知らせを配信できる「公式LINEアカウント」を選択しました。

公式LINEアカウントであれば、スマートフォンでお知らせLINEを受け取る事ができる上、本会からのアンケートへの回答もLINEで行っていただく事も可能となり、本会が緊急にお知らせしたい出来事があった場合でもその場で配信が可能となりますので、緊急連絡も即座に受信出来るようになります。

本会は、令和4年8月より、公式LINEアカウントを利用開始し、月間予定表だけでなく、その月に運営委員会で話し合われた内容や、福祉会からのお知らせの配信を開始しました。

今後は広報誌の記事募集にも活用していきたいと考えております。これからも感染拡大状況であったとしても継続しやすい手段を利用しながら、本会の活動再開へと進んでいきたいと思っております。

これからも、新たな取り組みを模索し、活動に邁進して参りますので、ご支援いただけますと幸いです。



かしの木の会

会長 小杉 ひらみ

# 福祉情報

## 法人内研修について



檜の木福祉会は、研修委員会が中心となり研修計画に基いた各種研修の企画・運営をしています。

今回は、スキルアップ研修についてご紹介します。スキルアップ研修とは、現場スタッフに、より個別な研修機会を設けることを目的として創設された仕組みです。研修項目を細かく設定し、少人数で開催することにより、濃密な学習の機会を提供することができています。2月のスキルアップ研修は、ゆんたく主任の私角田相談支援専門員が講師を務め、“障害福祉のお金の話”をテーマに行いました。

昨年度入職された方からベテラン職員さん、看護師さん、法人本部の職員さんと幅広い層の参加でした。市役所から毎年発行される『福祉のしおり』のページをめくりながら、障害者手帳を取得した後に申請できる各種手当や障害者年金などの収入となるお金、補装具や日常生活用具や住宅改修など補助のお金、障害福祉サービスの利用料金や入所施設やグループホームでの生活費など支出となるお金などについての説明をさせていただきました。



一通りお話した後はフリートークで、具体的な福祉用具の申請の質問や生活保護に関する素朴な疑問や利用者みなさんの生活費の現実の理解を深め、参加した職員それぞれの立場で思うことなど活発な意見交換ができました。

ゆんたく主任 角田 高恵

## 成人のお祝い



檜の木福祉会は、昔からの伝統を守り、新しく二十歳になられた方を、その事業所みなさんでお祝いしております。らちえっとでは、中林大士さんが、1月18日に二十歳になられました。その少し前、1月12日に二十歳のお祝い会を行いました。この日、朝の活動は調理実習。もちろん、午後からのお祝い会でいただくデザート作りです。

みなさんで、力を合わせておいしいチョコレートケーキをつくりました。いよいよ、午後から二十歳のお祝い会のスタートです。喫茶店勤務の利用者も合流して本日の主役をお迎えます。

職員かららちえっとのみなさんに「二十歳になりました。」と紹介すると、大きな拍手に包まれました。つぎに先輩の方からの花束贈呈です。また、別の先輩から「今日から大人の仲間入りだね。どうぞよろしくね。」との声と、そして恒例の印鑑の贈りものがありました。

主役の中林大士さんは、朝から満面の笑みで、おいしいチョコレートケーキもほおばり、一日中笑顔で過ごされました。



管理者 只井 秀明

## お知らせ

—行事予定—

□運動会（詳細は後日お知らせしますので、各事業所のお知らせ、法人ホームページをご確認ください）

□かしの木の会総会は、昨年度に引き続き書面表決による開催とします。

